

令和5年度 学校評価書

市の重点課題	学校の重点項目	学校関係者評価委員会から
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	一人ひとりが夢をもち、主体的・協働的な体験活動に取り組むことを通じて得られた結果を全職員が共通理解のもと、意味付け、価値付けを積極的に行うことで自己肯定感を高める。	<p>○学校運営方針に一貫性があり、「笑顔」をキーワードに主体的、協働的な活動が行われている。</p> <p>○生徒会を中心とした自主的な活動が、素晴らしい。</p> <p>○学校行事を生徒たちが主体的に取り組み、多くの生徒が自己肯定感を得られたと思う。</p> <p>●生徒一人ひとりの力を引き出し、十分に発揮できる場面指導をしてほしい。</p>
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<p>支援推進委員の協力を得て、地域の教育力を活用した体験的学習を行うことで、地域への関心を高める。</p> <p>小中学校で連携し、保護者と地域を含めて明るい挨拶の溢れる街づくりを推進する。</p>	<p>●地元・岩野田の歴史の学習を加えてほしい。</p> <p>●地域ボランティアに、更に積極的に取り組んでほしい。</p> <p>●限られた職種だけでなく、選択肢を増やすことで、体験学習の視野が広がると思う。</p> <p>○しっかりと挨拶ができています。</p> <p>○地域のあいさつ運動で子どもたちの意識も高まっている。中学生に定着することで、大人も含めた地域全体に広がっていくと考える。</p>
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	教職員がよりよい人間関係を築き、生徒たちと積極的にコミュニケーションをとることで、明るく楽しい学校生活を送ることができる。	<p>○多くの生徒が、楽しい学校生活を送っているようである。</p> <p>○合唱発表会において、学級の団結力と担任教師の生徒を見守る姿がよかった。</p> <p>○「ここタン」を利用した相談スタイルで、以前よりも悩みや相談がしやすくなっていると思う。</p> <p>●教員と生徒のコミュニケーションを重要視して信頼関係を築くことが、SOSを見逃さない第一歩だと考える。</p>
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<p>命を守る訓練・防災学習を通して、自分の命は自分で守る意識を育てるための知識や方法を学ぶ場を設定する。</p> <p>管理職・いじめ対策監を中心として、よりよい人間関係を育む指導体制を確立する。</p>	<p>○計画的に訓練や防災学習が行われている。</p> <p>○防災学習を通して、いざという時に子どもたちでもできる様に実習されている。</p> <p>●近年、何が起こるか分からない時代であり、日頃から子どもたちに防災意識を持たせることで、冷静な行動をとることができる。そのためにも更に意識を高める取り組みが必要と考える。</p> <p>○毎月の「いじめを見逃さない日」の取り組みなど充実していて、生徒と教員の距離感が近く、なんでも話せる機会になっている。</p> <p>●いじめに対する教員に意識を更に高めてほしい。</p> <p>●教員の更なる、生徒の心を開かせるような対応に期待する。</p>
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<p>教職員のICT活用研修により、タブレット端末を十分に活用して授業を充実させる。</p> <p>財務や納入金を適切かつ有効に運用できるように努める。(保護者への説明責任を果たす。)</p>	<p>○普段から生徒がタブレットを持ち歩き、多くの機会写真やメモを取る姿がある。</p> <p>●上級学校にてタブレットの使用が通例となっているため、中学校時代にICTを活用できる能力を身につけることは、とても有効である。</p> <p>○適正かつ有効に運用されていると思う。</p> <p>●限られた財源を有効に活用してほしい。</p> <p>●保護者からの質問に対して、具体的に分かりやすく説明できることが必要である。</p>